

令和8年度 第1回四街道市史編さん委員会 会議録

日 時：令和8年7月31日（金）10時00分から11時58分

場 所：四街道市役所本館1号棟4階401会議室

出席者：

【委員】須藤元夫（委員長）、中基敬子（副委員長）、榎澤和夫、遠山成一、綿貫啓一、笹川知美、  
渡邊善司

【職員】田島衣織市史編さん室長、中村政弘市史編さん主任、藤井優規主任主事

欠席者：0人

傍聴人：0人

1 開会

2 会議の公開等

須藤委員長の議事進行により、下記についての上承を得る。

①会議は公開とする。

②会議録の作成については、発言者を明記し、要点筆記とする。

③議事録署名人については、押印廃止に伴い、特に署名を求めない。

④傍聴者を確認し、傍聴人はなし。

3 報告

（1）令和7年度事業報告について

（2）令和8年度事業計画について

（3）市史刊行物の販売実績について

資料1、資料2、資料3について一括して事務局より説明。

質問

中基副委員長：今年度の第2回会議の開催予定が2月となっているが、昨年度は12月だった。なぜ2月に変更となったのか。

事務局：刊行する年については、2月では刊行スケジュールに間に合わなくなってしまうため12月に前倒しで開催している。今年度は刊行の年ではないため、ゆとりをもって2月の予定とした。

4 議題 （1）『四街道市の歴史 資料編近現代4』構成案について

須藤委員長：それでは、議題（1）「『四街道市の歴史 資料編近現代4』構成案について」事務局より説明をお願いします。

事務局：（資料4に沿って説明）

- 須藤委員長 : ただいま、事務局から説明があった件について、意見・質問等はあるか。
- 榎澤委員 : 収録する時代は昭和の終わりまでとのことだが、どのように締めくくるのか。例えば、昭和 58 年の核兵器廃絶平和都市宣言などの資料を入れる等すると、四街道市の平和に対する思いなども伝わって良いのではないか。  
また、市役所本庁舎の前にある被爆アオギリがなぜ四街道に来たのかなどの経緯等も関わってくると思う。
- 須藤委員長 : 現代の資料集が刊行されることはないので、近現代編の最後でどこまでフォローするのかという問題は考える必要がある。
- 須藤委員長 : 四街道市の都市宣言は他に何かあるか。
- 事務局 : 核兵器廃絶平和都市宣言のほか、福祉のまちづくり宣言とゼロカーボンシティ宣言があるが、昭和時代に宣言されたものは核兵器廃絶平和都市宣言のみとなる。
- 須藤委員長 : 他の自治体などでは近現代に係る市史の最後はどこまで収録されているものなのか。
- 事務局 : 他の自治体も刊行物の形態にもよるが、昭和の終わりとしているところが多い。四街道市においては、昭和の終わりと市制施行の時期が重なるため収録する時代の最後として良いのではないかと考えている。
- 渡邊委員 : 印西市では平成の合併までを近現代市史としている。四街道市は昭和以降合併もないので、昭和の終わりまでで良いと思う。
- 須藤委員長 : 平和都市宣言の関係資料掲載については、事務局で検討をお願いします。
- 事務局 : 承知した。ただし、一つ一つの資料が大きく、全部掲載することはページ数の都合上難しい部分があるため、どのように掲載するかも含めて検討したい。
- 須藤委員長 : 今回扱う時期は、佐倉市との合併・編入問題で四街道という地域が揺れ動いた時期だと思う。これらの関係資料については、当時の関係者で存命の方も当然いるので配慮が必要だと思う。
- 事務局 : 陳情書などの資料が該当すると考える。千葉市史などでは、覚書や協定書などに記載されているものは個人名も含めて公開している。県の方で申請すれば閲覧できる公開された資料であるので問題ないものと考えている。ただし、当事者や関係者から掲載をしてほしくないという意見があれば掲載を控えるべきと考えている。
- 須藤委員長 : 関係する佐倉市ではどのように資料が扱われているか。

事務局 : 佐倉市は通史のみ取り扱っており、資料集を刊行していないためそれほど触れられていない。そのため、今回四街道市で資料集を出すこと自体は今後の重要な参考資料になり得ると思う。

須藤委員長 : その他、意見はあるか。無いようなので以上で議題を終了する。それでは、議長としての任を解かせていただく。

## 5 その他

刊行計画について、今後の方針検討のための意見交換を行った。

## 6 閉会